

癌化学療法輸液約束処方 肝4

癌種 切除不能な肝細胞癌

レジメン名 肝4 Bev+ATEZO

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与日	1クール期間
テセントリク	アテゾリズマブ	ATEZO	1200 mg/body	div	DAY 1	21日間
アバスチン	ベバシズマブ	Bev	15 mg/kg	div	DAY 1	

[DAY 1]

- ① NS 50ml / 5分
- ② NS 250ml + テセントリク 1200 mg / 1回目60分 2回目以降30分 ☆フィルター使用
- ③ NS 50ml / 5分
- ④ NS 100ml + アバスチン _____ mg / 1回目90分 2回目60分 3回目以降30分
- ⑤ NS 50 ml / 5分

【注意事項】

- ・テセントリク投与する際はインラインフィルター(0.2又は0.22μm)を使用すること。
- ・投与開始前及び投与中にTSH、FT3、FT4などを定期的に測定。
- ・有害事象に対し副腎皮質ステロイドを投与する際に、HBVの再活性化に注意。

<休薬規定>

- ・非血液毒性 ≥ Grade3
- ・自己免疫疾患の発症
- ・間質性肺炎: G2→休薬、≥G3→投与中止
- ・大腸炎、下痢: G2/3→休薬(G1→再開)、G4→投与中止
- ・肝機能障害: G2→休薬(ベースラインまで改善→再開)、≥G3→投与中止
- ・内分泌障害、副腎クリーゼ: 投与延期または中止
- ・神経毒性: G2→投与延期(ベースラインに改善→再開)、≥G3→投与中止
- ・皮膚毒性: ≥G3→休薬(G1→再開)、≥G2→皮膚科医へ紹介

・1型糖尿病、脳炎、静脈血栓症：専門医と連携し投与中止も検討

R3.11.22作成